

皆さんおはようございます。校長の関田です。1学期を締めるにあたり、三つの話をします。

一つ目は、4月8日の始業式と入学式で、初めて皆さんにお話ししたことの成果についてです。

今年の1年生から始めた30人学級では、教室がゆったり使えますし、先生方からも授業がしやすい、一人一人の生徒に目が届きやすいという声を聞いています。皆さんにとっては、クラスメイトが10人少ないわけですから、少し淋しいかも知れませんが、今後は少人数学習のメリットが徐々に1年生の皆さんの成績に表れてくることを期待しています。メリットを活かさないとは効果には結びつきませんし、効果を上げるには皆さん自身の努力が必要です。期待しています。

国際交流の推進に向けた海外研修の選択肢に、オーストラリア・ケアンズ8日間に加え、ニュージーランド・クライストチャーチ10日間を企画したところ、最終的にオーストラリアに25人、ニュージーランドに20人の生徒が参加を希望してくれました。参加を希望してくれた45人の皆さん、どうもありがとうございます。約束通り、一人10万円の補助をします。皆さん一人一人が、生涯、心と記憶に残るような体験をしてきてくれることを願っています。

食堂の営業については、4月の段階では7月までの営業とお話ししましたし、生徒総会でも議題になりました。しかし、「電光石火」でも報道されたように、先生方がまだ営業継続に向けた交渉を続けています。食堂業者さんがもう一度検討してくれているのも、多くの皆さんが呼び掛けに応じて食堂を利用してくれたおかげです。食堂チーフの方も、こんなに利用生徒が増えるとは思わなかった、驚いたとおっしゃっていました。どうもありがとうございます。今の業者さんが続けるかどうかはまだ分かりませんが、もし叶わなかった場合でも、別の業者さんが2学期から営業してくれるよう、こちらも交渉を続けています。結果は、2学期の始業式にお知らせします。

三つのうちの二つ目です。

4月に私は、今ここにいる西高生の皆さんに、始業式と入学式で、こうお話ししました。今よりもっと西高を好きになってもらい、もっと胸を張って、もっと自信に溢れて、西高を卒業してもらいたい。皆さんが今よりも一歩でも前へ、一歩でも高く、進んで行けるように、職員は一致団結してがんばる、と。

そのために、校長として、できるだけ皆さんと直接お話をしようとしてきました。部活動の試合や練習にもできるだけ足を運んで、皆さんの頑張る姿を見せてもらおうとしてきました。それは、皆さんをもっと知る必要があると思ったからです。まだまだ足りないなと反省していますが、それでも皆さんの良いところがたくさん分かってきました。部活動の応援に行って、私の方が励まされることもたくさんありました。本当に励まされる。単純に勝ち負けでは決められない価値がたくさんあることも教えてもらいました。

一方、5月には不祥事による先生の退職という辛いこともありました。2年生の皆さんには、ホームルームや授業で迷惑を掛けました。本当に申し訳ありませんでした。また、ダンス部の皆さんは、それでも大会で素晴らしいパフォーマンスを発揮してくれました。

本当によく頑張ってくれました。どうもありがとう。

先日、野球部の前キャプテンに、新旧キャプテンの交代後、少しだけ話をしました。野球部の諸君は、西高の誇りだと。厳しい練習を重ねて来た成果を、第1シードの浦和学院戦で精一杯発揮しただけではなく、早朝の清掃活動にしても、普段の学校生活の態度においても、挨拶をとっていても、本当に西高の誇りだと思っています。

でも、西高の誇りは野球部だけではないのです。とてもすべてを紹介することはできませんが、例えば、埼玉県の英語・日本語スピーチコンテストの運営を陰で支えてくれた英語部の皆さん。自分たちが出場したわけではないけれども、皆さんが気持ち良く運営を支えてくれたからこそ、埼玉県代表になった日本人高校生も外国人高校生も、そのまま関東大会でも1位となり、8月の全国大会へ進むことができました。ありがとう。

また例えば、先週ひまわり特別支援学校を訪問して交流してくれたインターアクトクラブの皆さん。皆さんの奉仕と国際理解の精神は、周囲の人々を少し幸せな気持ちにしてくれます。あなた方一人一人の周りから、その善意は少しずつ広がって、やがてより善い世界の実現に必ず役立ちます。

様々な部活動で活動する皆さんの前向きな姿勢は、どれも素晴らしいものです。しかし実は私は中学も高校も部活動はやっていません。帰宅部でした。でも、自分の高校生活は充実したものだだと自負しています。ですから、2学期からは、部活動以外で頑張っている皆さんにも、もっと視線を注いでいきたいと思っています。

そして、これまでに見せてもらった、頑張っている皆さんの姿を、この西高の誇りを、もっと広く、もっと大勢の人々に伝えたいと思います。Pride of the West、皆さんの誰もが持っている西高の誇りを、まずは在学中に、まずはさいたま市中に伝えたい。そこでは皆さん一人一人が西高を代表する者なのです。皆さん一人一人が大宮西高校そのものなのです。部活動に参加していない人も、あなたがた全員の一人一人の前向きな取組のすべてが、西高の誇りなのです。Pride of the West、その西高の誇りを伝えたい。

最後の三つめは、二つの秋のイベントの参加者募集についてです。

一つは、10月17日土曜日の午前中にある地域防災訓練です。近隣住民の方々が、避難場所に指定されている本校で訓練に参加します。しかし、ここが避難場所になるような災害が発生した時には、900名ほどの生徒と先生方が高い確率でこの避難場所に居ます。

避難訓練の時に、皆さんにお話しした三つのことを覚えていませんか。そのうちの二つを思い出してください。一つは、皆さんは地域の中では強者だということです。大きな災害が起こったら、自分の命を守った次には、近隣の弱者、お年寄りや身体の不自由な人や幼い子どもたちを助けてあげる立場です。二つ目は、部活動と同じで、普段の練習でちゃんと取り組んでいないことが、本番でできるわけがないと。

この地域防災訓練は土曜日ですし、皆さんの参加は自由です。でも、いつか必ず起こる災害に備えて、自分の命を守り他人の命を救ってあげるために、皆さんの自主的な参加を期待します。帰る前に担任の先生に申し出てください。

もう一つのイベントは、11月15日の日曜日、主に午前中にある第1回さいたま国際マラソンです。リオデジャネイロ・オリンピック女子マラソンの代表選考レースの一つで、埼玉県でもさいたま市でも、初めて開催する国際マラソンです。出走登録は終わっていま

すので、皆さんに「走れ」と言うつもりはありません。大会を運営する高校生ボランティアを募集しています。給水所の運営や、ランナー受付などのボランティアで、陸上部は全員が手伝うことになっていますが、他に本校だけで50人くらいのボランティアを募集しています。全員にスタッフジャンパーが貰えるそうですが、参加してみようかなと考える人は、これも帰る前に担任の先生に申し出てください。

こうした機会に、皆さんが西高の誇りを伝えてくれることを期待しています。Pride of the West、さあ、西高の誇りを伝えよう。

以上です。